

人生不幸朗くんという人がMr. Childrenの「口がすべって」という曲を聞いてショックを受けた記録。著作権クリアしていません。桜井先生JASRACさんごめんなさい。

桜井たん	人生不幸朗
口がすべって君を怒らせた	いかんですね。「すべった」ってことは、前々から思ってたことを言いましたね。フロイディアンスリップとかそういうやつ。でもしょうがないですね。とりあえずあやまりましょう。
でも間違っていないから謝りたくなかった	言っちゃったわけですね。「いやまちがった」とかは言いたんないんなら「言いすぎた、ごめん」ぐらい言いましょう。本当のこと言えればいいってもんでもないと思うです。 「でも」が高いところから入ってくるのがメロディ一的に天才を感じます。コード進行とかもいろいろ凝ってるのね。
わかってる それが悪いとこ	反省して直すようにしてください。
それが僕の悪いとこ	とりあえずあやまったらどうですか。 「悪いとこ」だと言いつつ、そこがよいところでもある、むしろ魅力だ、おれは正直なやつだ、節を曲げない男だと思ってますね。それはそれでいいでしょう。わたしもそういうのはわかります。 この「悪いとこ」はR. M. ヘア先生のいうinverted comma用法、カギかっこに入った「悪いとこ」であり、「一般には悪いと言われているけれども俺は悪いと思ってないよ」ってやつですね。2回くりかえしてるのが印象的。
「ゆずれぬものが僕にもある」だなんて	これはよいです。やっぱり大事なことは大事っすからね。上で口に出しちゃったことは譲れないことなんすね。しょうがないっすね。
だれも奪いに来ないのに鍵かけて守ってる	これもしょうがないです。人間ってそういうもんです。大事なもんすからね。「奪う」とか「鍵」とかそういう強い言葉がミスチル先生の歌詞の特徴ですね。
わかってる 本当は弱いことを	うんうん。この「わかってる」の抑揚がいいっすよね。いかにもイラついている感じが出てる。子供が「わかってる」とかって言ってる感じそのまんまですうまい。
それを認められないことも	うんうん……うん？もしかして「自分が弱いとは認めないよ！」って言ってる？
思い通りに動かない君という物体を	でました「物体」。まあこれは本気ではなく、あるときは自分は相手を「物体」とか「操作の対象」、オブジェクトとして見てる、ってことですね。物体思い通りに動きませんね。自分のbodyでさえうまく動かない。

<p>なだめすかして 甘い言葉かけて 持ち上げていく</p>	<p>まあヨイショしているわけですね。これもまあ時には必要なんでしょうね。 「わかっている、自分が弱いことは認められない、そして今も君という抵抗する物体を努力して動かしている」っていうのはもう相手に対するディスプレイ、宣戦布告に近いですね。</p>
<p>もう一人の僕がその姿を見て嘆いているよ</p>	<p>それでもここまではまあよかったんですわ</p>
<p>育んできたのは「優しさ」だけじゃないから。。。。</p>	<p>ここだ。「優しさ」だけじゃないのならなんだろう？「育む」も「二人(?)の関係で育んだ」なのか「自分が育んだ」なのかわからない。</p> <p>「育んだ」のが1人か2人か社会か知らんけど、おそらく「育んだ」のは「憎しみ」だ。つまり「君をよいしょしている自分が情けないよ、なんで君みたいな物体をよいしょしなきゃならんのだ。下に落して踏ん付けて叩き壊したいものだ」</p> <p>「優しさ」とカギかっこがついているのも意味深だわね。さっきの「悪いところ」はカッコにいれずにこの優しさはカッコに入れる。少なくともふつうの意味の「優しさ」ではない。さっきと同じ考え方でいけば、「ふつう一般に優しさと言われているもの」ぐらい。「俺はおまえとの関係のなかで、人々が優しさと呼ぶところのものを発揮してきたが、他にも隠しもっているぞ」ははっきり脅している。</p>
<p>争い続ける血が流れてる 民族をめぐる紛争を新聞は報じている</p>	<p>いやですね。戦争反対。ピース。</p> <p>ここも衝撃的で、最初に聞いたときはむしろここでびっくりしたかもしれない。だって、「優しさ以外のものもあるぞ」って宣言した上で、「血が流れる」だもんね。いちおう新聞にのってる民族間の話だってことにしてるけど、聞いてるときはそうはならないよ。こういうのがうまい。</p>
<p>分かってる「難しいですね」で 片づくほど簡単じゃないことも</p>	<p>けっきょくは力で解決しなきゃならないこともあるよ、ってことですね。これも脅している。私はこわいですよ。</p>
<p>誰もがみんな大事なものを抱きしめてる</p>	<p>うん。</p>
<p>人それぞれの価値観 幸せ 生き方がある</p>	<p>うん。大事なことですな。</p>
<p>「他人の気持になって考える」とは言われてはきたけれど</p>	<p>大事なことですな。努力はしたいです。</p>
<p>想像を超えて 心は理解しがたいもの</p>	<p>つまりあなたには他人の気持ちはけっきょくわからん、ということですな。「他人の気持を考える」って子供のころから言われてきたけど、けっきょくわからん、と聞きなおってるわけですか。</p>

<p>流れ星が消える 瞬く間に消える</p>	<p>人生は短いすなあ。このフレーズはすごくよくて、「願い事」の対象である流れ星さけでなく、戦争で消えていく人々の生命を連想させる。</p> <p>ここも衝撃を受けたところで、上からの流れだったら紛争とかで生命が失なわれることを連想させられた上で、「人の気持考えると言われてもおまえのことは理解できない」って訴えた上で、「おう、流れ星が流れてるねえ。人の命ははかないものだねえ」って言うてるのよ? すごい脅した。ヤクザではないか。</p>
<p>今度同じチャンスがきたら</p>	<p>え、次の話になるの?</p>
<p>自分以外の誰かのために</p>	<p>この「自分以外」「誰か」も効いていて天才的だ。ふつうだったら「*君*のために」「困ってる人のことを」「失なわれた命のために」「大事な人のために」って具体的になるっしょ。この方の場合「自分以外」というくり。こんなくりかたする人はじめて見た。「おれたち」ならわかるのに、このひとは「おれ」と「おれ以外ぜんぶ」なんよね。ある種の哲学者ですなあ。</p>
<p>願い事をしよう</p>	<p>いままでは自分のことだけだったんですね。そして今回もやっぱり自分のことだけ考えることにしたんですね。「まあ次のチャンス、次の人生があれば考えることにしよう」ってことですね。</p>
<p>口がすべって君を怒らせた</p>	<p>ここで最初にもどってくるのは作詞的に正しい。でもあやまったんですか?</p>
<p>でもいつのまにやら また笑って暮らしてる</p>	<p>とくに謝ることもなく笑ってるんですね。主語がないのが気になる。相手はほんとうに笑っているんだろうか。その笑顔は本心からのものだろうか。あんな脅しかたされて本当に笑えるんだろうか。</p>
<p>分かったろう</p>	<p>これひどい。相手は分かってない可能性があるんじゃないですか。「お前いまわらってるだろう、んじゃない俺たちの関係はなんとかなってるんだ」</p>
<p>僕らは許し合う力も持って生まれているよ</p>	<p>相手の人ほんとうに許してるんですか、っていうかあなた自分はぜんぜん悪くなかったんしょ。なんで許してもらい必要があるの? あなたは許してるの? 「君は許す力をもって生まれてる」んじゃないの?</p>
<p>ひとまずそういうことにしておこう</p>	<p>なんでそんなこと言われなきゃならないんですか</p>

<p>それが人間の良いとこ</p>	<p>あなたの悪いところ、自分はいつも正しいと思える短所であり長所であるところを他の人間はもってないんですよ。相手は許す力をもってるんですが、あなたはもってるんでしょうか。</p>
	<p>そもそもあなた相手にいやな思いをさせても、自分がいやな気分になんてなってないですよ。</p>
	<p>自分が悪いとも思ってなくて、そのままほうっておけば関係が改善すると思ってますよね。</p>
	<p>むしろ、自分を不快にした他人は叩きつぶしたいっていうのはそのまんまですわね。</p>
	<p>他人のことを考えるのは次に流れ星に出会ったときでしかなくて、今はそんなこと考える気はないわけですわね。</p>
	<p>この短い一瞬で消えるかもしれない人生、運が悪いとほんとうに花火のように失われてしまう人生ではとにかく自分が大事なわけですわね。</p>
	<p>そしてなにより、ネガティブなことを言っただけで相手を脅してますね。私は本当に怖いんです。</p>
	<p>コード進行とかネットにあったやつで確認してみましたが、これは天才の作品ですね。歌詞と曲が有機的に結びついていてすばらしい。私が興味があるのは、先生の歌を「深い」とか言ってる人々がなにを考えてこの曲を聞いているかなのです。心清い人々が多いみたいだから、この曲が平和的なことを歌っていると解釈されているようですが、すくなくともぜんぜん違う解釈を許すようなのは私にははっきりしていると思う。「俺は自分のことしか考えねーぜ」という歌だったらもちろん全然問題がない、というかむしろロックはそう歌ってほしい。でもこの歌詞はそういうものでもない。あんまり歌詞について考えない人々をだますような形になっているんじゃないかな。</p>